

## 4-24 大気汚染常時監視測定結果

(注-1) 平成9年度における大気汚染常時監視測定結果をとりまとめている。  
 (注-3) 測定結果における表の備考欄の「○」は、10年間継続して測定を行い、かつ、各年度の測定時間が6,000時間以上の測定局を示している。

(注-2) 用途地域の欄は、次の区分に従って記入している。

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 風致地区
- 臨港地区
- 工業専用地域
- その他

(注-4) 測定は、下表に示す方式により実施している。

測定項目	測定方式
窒素酸化物（一酸化窒素、二酸化窒素）	吸光度法
光化学オキシダント	吸光度法 紫外線吸収法（乾式）
炭化水素（全炭化水素、非メタン炭化水素）	ガスクロマトグラフ法
浮遊粒子状物質	ベータ線吸収法
二酸化硫黄	溶液導電率法 紫外線蛍光法（乾式）
一酸化炭素	非分散型赤外線吸収法

(注-5) 窒素酸化物、光化学オキシダント及び二酸化硫黄の各項目については、平成8年10月から乾式測定法が環境基準の公定法に追加された。平成9年度では、光化学オキシダントと二酸化硫黄について、一部測定局で乾式法による測定が開始されている。